

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	自己紹介文		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年 4月 12日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177人		
実施場所	各HR教室	使用備品	
謝礼	あり(なし)		
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	フィールドワークを通じて京都を探究し、世界に発信するための教養を身に付ける。		
講演・講義の概要	研修旅行において京都の魅力を海外へ発信することを伝え、ホームステイファミリーに向けた自己紹介文作成を通して、地元京都についての下調べを行う。		
備考・その他			
実施報告			
内容	研修旅行のホームステイファミリーへの自己紹介文を作成する中で、自分たちの住んでいる町や家族、趣味などの自分自身のバックグラウンドをよりよく伝える工夫をすることを通して、情報発信力を身に付ける。		
受講者の反応	自分自身をよりよく伝えるための英語や内容の工夫が見られた。		
事後指導	実際の研修旅行のホームステイファミリーとの交流で、さらに発展的に自己紹介ができたか事後にフィードバックしてみたい。		
反省・課題	研修旅行をきっかけに自分自身の情報をまとめて発信する力を身に付けさせることができた。		
記録欄	13:35~13:40 説明 13:40~14:25 自己紹介文を作成した。		
報告者	服部拳也、武居春江		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年4月19日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	校外学習グループ作り		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年 4月 19日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177人		
実施場所	各HR教室	使用備品	
謝礼	あり(なし)		
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	フィールドワークを通じて京都を探究し、世界に発信するための教養を身に付ける。		
講演・講義の概要	5月に校外学習で京都市内のフィールドワークを実施する。グループで行動するため、本時限ではグループの作成を行い、フィールドワークに向けて交流を深める。		
備考・その他			
実施報告			
内容	グループを作るために必要な主体的行動、コミュニケーションを教員側で促しつつ、生徒自身が相談しながらグループを作成した。		
受講者の反応			
事後指導	規定の人数に収まるように、うまくグループを作っていた。		
反省・課題	教員側としては、今までに接したことがない新しい仲間がグループが作れたら、新しい人間関係作りができたかも知れないが、全体的に仲良しグループになってしまった。		
記録欄	13:35~13:40 説明 13:40~14:25 グループ作りをした。		
報告者	服部拳也、武居春江		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年4月26日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	校外学習行程づくり		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年 4月 26 日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177 人		
実施場所	各HR教室	使用備品	謝礼あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	フィールドワークを通じて京都を探究し、世界に発信するための教養を身に付ける。		
講演・講義の概要	5月に校外学習で京都市内のフィールドワークを実施する。その準備として京都の史跡名勝についてリサーチし、京都の魅力等について探究する。		
備考・その他			
実施報告			
内容	京都市内の魅力あるスポットを3つ選び、それを映像作品にする。その作品は成果物として、文化祭や研修旅行の自己紹介に活用する。スポット選びをグループで相談する前に、去年の優秀作品を参照して自分自身の作る作品をイメージさせた。京都駅を出発点として、学校帰着までの行程、予算をとりまとめた。		
受講者の反応	皆、積極的に意見を出し合い、手際よくかつ意欲的に3か所を選んだ。		
事後指導	各担任で無理のない予算か、行程かどうかをチェックした。		
反省・課題	3か所のスポットに共通するテーマや観点をもっと意識させられたらよかった。		
記録欄	13:35~13:40 説明 13:40~14:25 グループで郊外学習の行程づくりをした。		
報告者	服部拳也、武居春江		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年5月10日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	学校長の研修旅行にむけての講話		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年 5月 10日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177 人		
実施場所	ホール、各HR教室	使用備品	
謝礼	あり(なし)		
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	学校長のアメリカ研修旅行の講話を踏まえて、探究テーマの意識付けを行う。		
講演・講義の概要	学校長の講話を元に、アメリカ研修旅行での探究テーマ探しを行う。		
備考・その他			
実施報告			
内容	学校長の講話を聴いた上で、アメリカ研修旅行での探究学習のテーマ探しを行う。		
受講者の反応	生徒は各自、学校長の講話で印象に残った点を紙にまとめた。		
事後指導	学校長の講話を生徒がまとめたものの中に、探究のテーマにつながるものがあるか、HR担任で確認した。		
反省・課題	探究のテーマを絞り切れていない生徒が多くいた。		
記録欄	13:40~14:25 学校長の講話を聴いた。 14:35~15:25 学校長の講話をもとに探究のテーマにつながりそうなものを紙にまとめた。		
報告者	服部拳也、武居春江		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年5月17日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	AIGROW			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団、雑賀巖 ( )			
実施日時	令和 5年 5月 17日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 177 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	AIGROW実施			
講演・講義の概要	AIGROWで自己、気質、相互評価を行う。			
備考・その他				
実施報告				
内容	自分自身について、他者について多面的に評価する。			
受講者の反応	一切の私語なく、集中して行った。			
事後指導	今後の探究学習のグループ作成に活用する。			
反省・課題	特になし。			
記録欄	13:40~14:25 AIGROWを実施した。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年5月31日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	京都市内観光動画鑑賞(1)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )			
実施日時	令和 5年 5月 31日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 177 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	京都市内観光動画鑑賞して互いにフィードバックすることで、コミュニケーション能力を養う			
講演・講義の概要	動画鑑賞の後、意見交換			
備考・その他				
実施報告				
内容	動画のテーマ、観点、工夫した点などを話し合った。			
受講者の反応	楽しく動画を鑑賞しつつも、真剣に取り組んでいた。			
事後指導	今後も継続的に探究学習のアウトプットの力を伸ばしていく。			
反省・課題	特になし。			
記録欄	13:40~14:25 各動画の視聴後、自由に感想を述べあった。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年6月7日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容	京都市内観光動画鑑賞(2)				
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )				
実施日時	令和 5年6月 7日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法	
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数	177 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼	あり(な)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団		
役割分担					
目的	京都市内観光動画鑑賞して互いにフィードバックすることで、コミュニケーション能力を養う				
講演・講義の概要	動画鑑賞の後、意見交換				
備考・その他					
実施報告					
内容	動画のテーマ、観点、工夫した点などを話し合った。				
受講者の反応	楽しく動画を鑑賞しつつも、真剣に取り組んでいた。				
事後指導	今後も継続的に探究学習のアウトプットの力を伸ばしていく。				
反省・課題	特になし。				
記録欄	13:40~14:25 各動画の視聴後、自由に感想を述べあった。				
	報告者 服部拳也、武居春江				

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年6月21日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	京都市内観光動画鑑賞			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )			
実施日時	令和 5年 6月 21日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 177 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	観光甲子園関連のビデオ視聴とグループの顔合わせ、役割分担決め			
講演・講義の概要	動画鑑賞の後、意見交換			
備考・その他				
実施報告				
内容	観光甲子園では、3日間の修学旅行プランを立て、その企画書を完成させ、提出する。その旅行プランには、SDGsのどの目標を達成するかを盛り込む必要がある。			
受講者の反応	オーバーツーリズムによる弊害は日常的に体験しているようであった。			
事後指導	日常的に体験していることを、SDGsに関連させて課題解決する力を継続的につけていく。			
反省・課題	特になし。			
記録欄	13:35~14:00 観光甲子園についての動画を視聴した。 14:00~14:25 各グループの顔合わせ、役割分担決めをした。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を



## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	京都市内観光企画書作成(1)		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年6月 28日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177人		
実施場所	各HR教室	使用備品	謝礼あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	観光甲子園:京都3日間修学旅行企画案作成(1)		
講演・講義の概要	SDGsのゴール、ターゲットから、京都3日間修学旅行で達成したいものを選ぶ		
備考・その他			
実施報告			
内容	京都3日間の修学旅行企画案を作成し始める。具体的プランを立てる前に、自分たちが達成したいと考える、SDGsのゴール、ターゲットを、環境面、社会面、経済面からそれぞれ選ぶところから始める。		
受講者の反応	SDGsのゴール、ターゲットを意識させることができた。		
事後指導	各グループで選んだSDGsのゴール、ターゲットを具体的に自分の観光プランに当てめる。		
反省・課題	特になし。		
記録欄	13:35~13:45 過去の入賞作品を見せる。 13:45~14:25 各グループでSDGsのゴール、ターゲットを選び、プランを立てた。		
			報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	京都市内観光企画書作成(2)		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年7月 12日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177人		
実施場所	各HR教室	使用備品	
謝礼	あり(なし)		
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	観光甲子園:京都3日間修学旅行企画案作成(2)		
講演・講義の概要	SDGsのゴール、ターゲットから、京都3日間修学旅行プランを立てる		
備考・その他			
実施報告			
内容	環境面、社会面、経済面のSGDsのゴール、ターゲットを念頭に置き、過去の優秀作品を参考にしながら、京都観光の具体的な行程を考える。		
受講者の反応	具体的な観光プランとSDGsのゴール、ターゲットを密接に結びつけて、企画書を書くことに苦戦し		
事後指導	生徒自身に、不足している知識を意識的に調べて補っていく作業に慣れさせる必要がある。		
反省・課題	特になし。		
記録欄	13:35~14:25 各グループでSDGsのゴール、ターゲットを選び、プランを立てた。		
報告者	服部拳也、武居春江		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	京都市内観光企画書作成(3)		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年7月 19日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	136人		
実施場所	各HR教室	使用備品	謝礼あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	観光甲子園:京都3日間修学旅行企画案作成(3)		
講演・講義の概要	SDGsのゴール、ターゲットから、京都3日間修学旅行プランを仕上げる。		
備考・その他			
実施報告			
内容	環境面、社会面、経済面のSGDsのゴール、ターゲット達成を目的にして、出典、添付資料を明記しつつ、京都観光の企画書を仕上げる。		
受講者の反応	仕上げに近づくほどに、よりよい企画書にしようとする意欲が高まってきた。		
事後指導	仕上がった企画書を提出する。また予選を通過如何にかかわらず、観光の企画書をスライド、もしくはポスターにして、英語か日本語によるプレゼンテーションの準備をさせる。		
反省・課題	特になし。		
記録欄	13:35~14:25 各グループでSDGsのゴール、ターゲットを選び、プランを立てた。		
			報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年8月30日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	Weblio英会話(1)		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年8月 30日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177 人		謝礼
実施場所	パソコン教室	使用備品	パソコン
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	研修旅行に向けての基本的な英会話スキルの醸成		
講演・講義の概要	オンライン英会話でフィリピンの英会話講師とレベル別教材をもとに英会話練習をする		
備考・その他			
実施報告			
内容	パソコン教室にて、30分間、各教材の音読、その内容に関するインタラクション、それが終わったらフリートークを楽しむ。		
受講者の反応	ほぼ全員の生徒が教員の補助なしにスムーズに英会話のやり取りをすることができた。		
事後指導	引き続き、研修旅行に向けて、残り2回、年間5回の実施で、コミュニケーションの楽しさを生徒が実感できるよう、サポートしたい。		
反省・課題	WWLで身に付けるべきスキルの中ではコミュニケーションスキルのみには当てはまるが、もう少し探究と結びつけることができるよう、メニューを検討する必要がある		
記録欄	13:35~14:25 パソコン教室にてオンライン英会話を実施した。		
			報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	アメリカの農業から日本の農業を考える		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年9月 6日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177人		
実施場所	ホール	使用備品	
謝礼	あり(なし)		
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	研修旅行に向けての事前指導(アメリカの農業について学ぶ)		
講演・講義の概要	アメリカの灌漑農業から、水を無駄にしない農業の在り方、水を大切に使うSDGsの目標に結びつける。		
備考・その他			
実施報告			
内容	ホールにて、社会科教員が動画を見せつつ、普段の地理の授業から学んでいる知識を研修旅行に結び付け、発展的にSDGsに関連する水の大切さを学ぶ。		
受講者の反応	真剣に考え、社会科教員の発問に対する応答が活発であった。		
事後指導	研修旅行中に身をもって農業、水に関して活きた学びを経て、今後の探究のテーマとして研究を継続することができるように指導する必要がある。		
反省・課題	事前指導として、あまり時間がとれなかった。4月からもっと農業、水に関するテーマを意識して、一貫したテーマで通年で探究学習ができるように計画をしっかりと立てる必要がある。		
記録欄	13:35~14:25 ホールにて全員がアメリカの農業、水について事前指導を受けた。		
報告者	服部拳也、武居春江		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年9月13日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	Weblio英会話(2)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )			
実施日時	令和 5年9月 13日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 177人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	研修旅行に向けての基本的な英会話スキルの醸成			
講演・講義の概要	オンライン英会話でフィリピンの英会話講師とレベル別教材をもとに英会話練習をする			
備考・その他				
実施報告				
内容	パソコン教室にて、30分間、各教材の音読、その内容に関するインタラクション、それが終わったらフリートークを楽しむ。			
受講者の反応	ほぼ全員の生徒が教員の補助なしにスムーズに英会話のやり取りをすることができた。			
事後指導	引き続き、研修旅行に向けて、残り2回、年間5回の実施で、コミュニケーションの楽しさを生徒が実感できるよう、サポートしたい。			
反省・課題	WWLで身に付けるべきスキルの中ではコミュニケーションスキルのみには当てはまるが、もう少し探究と結びつけることができるよう、メニューを検討する必要がある			
記録欄	13:35~14:25 パソコン教室にてオンライン英会話を実施した。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年9月20日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	Weblio英会話(3)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )			
実施日時	令和 5年9月 20日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 177 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員		担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	研修旅行に向けての基本的な英会話スキルの醸成			
講演・講義の概要	オンライン英会話でフィリピンの英会話講師とレベル別教材をもとに英会話練習をする			
備考・その他				
実施報告				
内容	パソコン教室にて、30分間、各教材の音読、その内容に関するインタラクション、それが終わったらフリートークを楽しむ。			
受講者の反応	ほぼ全員の生徒が教員の補助なしにスムーズに英会話のやり取りをすることができた。			
事後指導	引き続き、研修旅行に向けて、残り2回、年間5回の実施で、コミュニケーションの楽しさを生徒が実感できるよう、サポートしたい。			
反省・課題	WWLで身に付けるべきスキルの中ではコミュニケーションスキルのみには当てはまるが、もう少し探究と結びつけることができるよう、メニューを検討する必要がある			
記録欄	13:35~14:25 パソコン教室にてオンライン英会話を実施した。			
			報告者	服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年9月27日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	研修旅行に向けての事前準備		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年9月 27日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177人		
実施場所	各HR教室	使用備品	謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	アメリカ研修旅行の事前学習(本学の研修旅行の歴史について)		
講演・講義の概要	本校の研修旅行の始まり、コロナ禍による中断を経て、再開する意義について		
備考・その他			
実施報告			
内容	本校の先輩たちの研修旅行の歴史、その教訓を踏まえて今回の研修旅行をどのように意義深いものにするかについて、生徒一人ひとりに考えさせた。		
受講者の反応	生徒たちは学校長の話に聞き入っていた。		
事後指導	緊張感をもって研修旅行の心の準備をさせたい。		
反省・課題	特になし。		
記録欄	13:35~14:25 学校長による研修旅行の話聴いた。		
			報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を



No. \_\_\_\_\_

令和5年10月25日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	アメリカ研修旅行の振り返り(1)		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年10月 25日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177 人		
実施場所	各HR教室	使用備品	
謝礼	あり(なし)		
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	アメリカと日本の比較研究(1)		
講演・講義の概要	アメリカ研修旅行でのホームステイ、アーモンド農場、牧場、シリコンバレー、カリフォルニア州立大学など、ピア39など、各場所で体験した内容、また自分が興味を持った内容を項目ごとにまとめる		
備考・その他			
実施報告			
内容	アメリカ研修旅行で学んだ内容について、パソコンを用いて、項目ごとに調べ学習をしながら、文にまとめる		
受講者の反応	各個人での作業であったが、ほぼ全員集中して取り組むことができた。		
事後指導	アメリカ研修旅行で学んだ内容を紙面上でまとめたが、あと2回でスライドにまとめ、プレゼンの準備をする		
反省・課題	特になし		
記録欄	13:35~14:25 各HR教室で手書きで作業を進めた。		
報告者	服部拳也、武居春江		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年11月1日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	アメリカ研修旅行の振り返り(2)		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年11月 1日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177人		
実施場所	各HR教室	使用備品	
謝礼	あり(なし)		
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	アメリカと日本の比較研究(2)		
講演・講義の概要	アメリカ研修旅行でのホームステイ、アーモンド農場、牧場、シリコンバレー、カリフォルニア州立大学など、ピア39など、各場所で体験した内容、また自分が興味を持った内容を項目ごとにまとめる		
備考・その他			
実施報告			
内容	アメリカ研修旅行で学んだ内容について、パソコンを用いて、項目ごとに調べ学習をしながら、文にまとめる		
受講者の反応	各個人での作業であったが、ほぼ全員集中して取り組むことができた。		
事後指導	アメリカ研修旅行で学んだ内容を紙面上でまとめたが、あと2回でスライドにまとめ、プレゼンの準備をする		
反省・課題	特になし		
記録欄	13:35~14:25 各HR教室で手書きで作業を進めた。		
報告者	服部拳也、武居春江		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年11月15日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	アメリカ研修旅行についてのスライド準備(1)		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年11月 15日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177 人		
実施場所	各HR教室	使用備品	
謝礼	あり(なし)		
責任教員	担当教員 第二学年担任団		
役割分担			
目的	アメリカと日本の比較研究をスライドにまとめる		
講演・講義の概要	アメリカ研修旅行で自分が興味を持った項目を選んで、調べ学習をしながら、スライドにまとめる。		
備考・その他			
実施報告			
内容	アメリカ研修旅行で学んだ内容について、自分の興味を持った項目を1つか2つまでに絞り、その項目について、さらに調べ学習をしながら、スライドにまとめていく。		
受講者の反応	各個人での作業であったが、ほぼ全員集中して取り組むことができた。		
事後指導	スライドには要点を1つのみ、具体例も箇条書きにするよう、再度注意した。		
反省・課題	特になし		
記録欄	13:35~14:25 各HR教室でパソコンで作業を進めた。		
報告者	服部拳也、武居春江		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年11月22日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	アメリカ研修旅行についてのスライド準備(2)		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年11月 22日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177 人		
実施場所	各HR教室	使用備品	謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	アメリカと日本の比較研究をスライドにまとめる		
講演・講義の概要	アメリカ研修旅行で自分が興味を持った項目を選んで、調べ学習をしながら、スライドにまとめる。		
備考・その他			
実施報告			
内容	アメリカ研修旅行で学んだ内容について、自分の興味を持った項目を1つか2つまでに絞り、その項目について、さらに調べ学習をしながら、スライドにまとめていく。		
受講者の反応	各個人での作業であったが、ほぼ全員集中して取り組むことができた。		
事後指導	スライドには要点を1つのみ、具体例も箇条書きにするよう、再度注意した。		
反省・課題	特になし		
記録欄	13:35~14:25 各HR教室でパソコンで作業を進めた。		
			報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年12月6日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	アメリカ研修旅行についての発表(1)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )			
実施日時	令和 5年12月 6日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 177人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	アメリカと日本の比較研究(発表1)			
講演・講義の概要	日米文化比較のスライド発表(1)			
備考・その他				
実施報告				
内容	生徒たちは日米の学校、食事マナー、入浴などの違いについて作成したスライドを使ってプレゼンテーションを行った。聴衆者は各発表について総合点、優れていた点、もう少し工夫の余地のある点に関して評価を行った。			
受講者の反応	発表と発表の間が短めであったが、しっかりと感想を書いていた。			
事後指導	他者の発表から学びや発見を得るよう、アドバイスした。			
反省・課題	特になし			
記録欄	13:35~14:25 各HR教室で個人発表をした。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和5年12月13日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	アメリカ研修旅行についての発表(2)		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 5年12月 13日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177 人		
実施場所	各HR教室	使用備品	謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	アメリカと日本の比較研究(発表2)		
講演・講義の概要	日米文化比較のスライド発表(2)		
備考・その他			
実施報告			
内容	生徒たちは日米の学校、食事マナー、入浴などの違いについて作成したスライドを使ってプレゼンテーションを行った。聴衆者は各発表について総合点、優れていた点、もう少し工夫の余地のある点に関して評価を行った。		
受講者の反応	発表と発表の間が短めであったが、しっかりと感想を書いていた。		
事後指導	他者の発表から学びや発見を得るよう、アドバイスした。		
反省・課題	特になし		
記録欄	13:35~14:25 各HR教室で個人発表をした。		
			報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和6年1月10日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	アメリカ研修旅行についての発表(3)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )			
実施日時	令和 6年1月10日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 177 人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	アメリカと日本の比較研究(発表3)			
講演・講義の概要	日米文化比較のスライド発表(3)			
備考・その他				
実施報告				
内容	生徒たちは日米の学校、食事マナー、入浴などの違いについて作成したスライドを使ってプレゼンテーションを行った。聴衆者は各発表について総合点、優れていた点、もう少し工夫の余地のある点に関して評価を行った。			
受講者の反応	発表と発表の間が短めであったが、しっかりと感想を書いていた。			
事後指導	必ずしも全員に対してではないが、気になった点について発表者に質問をする場面も垣間見られた。			
反省・課題	特になし			
記録欄	13:35~14:25 各HR教室で個人発表をした。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和6年1月17日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	アメリカ研修旅行についての発表(4)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )			
実施日時	令和 6年1月17日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 177人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	アメリカと日本の比較研究(発表4)			
講演・講義の概要	日米文化比較のスライド発表(4)			
備考・その他				
実施報告				
内容	生徒たちは日米の学校、食事マナー、入浴などの違いについて作成したスライドを使ってプレゼンテーションを行った。聴衆者は各発表について総合点、優れていた点、もう少し工夫の余地のある点に関して評価を行った。			
受講者の反応	発表と発表の間が短めであったが、しっかりと感想を書いていた。			
事後指導	必ずしも全員に対してではないが、気になった点について発表者に質問をする場面も垣間見られた。			
反省・課題	特になし			
記録欄	13:35~14:25 各HR教室で個人発表をした。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を



No. \_\_\_\_\_

令和6年1月24日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	WWL研究成果発表会		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 6年1月24日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
受講人数	177人		
実施場所	各HR教室、視聴覚	使用備品	
謝礼	あり(なし)		
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	WWL研究成果発表会で、4人の生徒は代表として、英語で発表し、他の生徒は自教室して各発表、作品を視聴し、気づきがあればメモをとった。		
講演・講義の概要	WWL研究成果発表会		
備考・その他			
実施報告			
内容	英語で発表が行われるため、難しいところは理解が難しいようであった。内容以外での学びについてメモするように指導した。		
受講者の反応	多くの生徒にとって、英語を聞くだけで完全に理解するのは難しいが、スライドで理解しようと努めた。		
事後指導	特になし		
反省・課題	特になし		
記録欄	9:00~12:00 視聴覚教室にてコース別発表、発表者以外は教室にて視聴した。		
報告者	服部拳也、武居春江		

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和6年1月31日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	WWL研究成果発表大会の振り返り			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )			
実施日時	令和 6年1月31日 13時 35分 ~ 14時 25分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 177人
実施場所	各HR教室	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	WWL研究成果発表大会から学んだ点を振り返って今後の探究活動に活かす			
講演・講義の概要	アンケートを実施し、その主だった意見について話し合う			
備考・その他				
実施報告				
内容	英語での発表であったので、内容的を完全に理解できた生徒がほとんどいなかったが、スライドなどビジュアル的な工夫や、声量、抑場の工夫など、発表の姿勢、段取りについて学ぶべきことがあったようである。			
受講者の反応	クラス単位で率直に意見交換ができた。多くの者が代表発表者のプレゼンに感心していた。			
事後指導	研究成果発表での気づき、学びを今後の探究活動に活かすよう指導した。			
反省・課題	特になし			
記録欄	13:35~14:25 各HR教室でアンケートを実施した。 14:35~15:25 アンケート結果について意見交換をした。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和6年2月7日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	Weblio英会話(4)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )			
実施日時	令和 6年2月 7日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 177 人
実施場所	パソコン教室	使用備品	パソコン	謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	研修旅行で培った英語のコミュニケーションスキルをさらに伸ばす			
講演・講義の概要	オンライン英会話でフィリピンの英会話講師とレベル別教材をもとに英会話練習をする			
備考・その他				
実施報告				
内容	パソコン教室にて、30分間、各教材の音読、その内容に関するインタラクション、それが終わったらフリートークを楽しむ。			
受講者の反応	ほぼ全員の生徒が教員の補助なしにスムーズに英会話のやり取りをすることができた。			
事後指導	研修旅行、そのプレゼン、WWL研究成果発表会を経て、将来にかけてさらに英会話スキルを伸ばすよう促したい。			
反省・課題	WWLで身に付けるべきスキルの中ではコミュニケーションスキルのみには当てはまるが、もう少し探究と結びつけることができるよう、メニューを検討する必要がある			
記録欄	13:35~14:25 パソコン教室にてオンライン英会話を実施した。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. \_\_\_\_\_

令和6年2月14日

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	Weblio英会話(5)			
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )			
実施日時	令和 6年2月 7日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年	受講人数 177 人
実施場所	パソコン教室	使用備品	パソコン	謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団	
役割分担				
目的	研修旅行で培った英語のコミュニケーションスキルをさらに伸ばす			
講演・講義の概要	オンライン英会話でフィリピンの英会話講師とレベル別教材をもとに英会話練習をする			
備考・その他				
実施報告				
内容	パソコン教室にて、30分間、各教材の音読、その内容に関するインタラクション、それが終わったらフリートークを楽しむ。			
受講者の反応	ほぼ全員の生徒が教員の補助なしにスムーズに英会話のやり取りをすることができた。			
事後指導	研修旅行、そのプレゼン、WWL研究成果発表会を経て、将来にかけてさらに英会話スキルを伸ばすよう促したい。			
反省・課題	WWLで身に付けるべきスキルの中ではコミュニケーションスキルのみには当てはまるが、もう少し探究と結びつけることができるよう、メニューを検討する必要がある			
記録欄	13:35~14:25 パソコン教室にてオンライン英会話を実施した。			
				報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	一年の振り返り(1)		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 6年2月 21日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分 来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年
実施場所	各HR教室	使用備品	受講人数 177 人
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	一年を振り返り、探究活動で得たものについて振り返り、次年度にどう活かすかを考える(1)		
講演・講義の概要	クラス単位で一年の探究学習を振り返り、良かった点について書いてもらい、その主だった意見をクラス全体に発表し、さらに意見を出し合った。		
備考・その他			
実施報告			
内容	今回は良かった点について意見を出し合った。アメリカ研修旅行における一週間の経験こそが、アメリカ文化、日本文化に関する学びにつながった。また、学校が所在する京都の観光地を取材して、動画にまとめたり、他府県の修学旅行生のために、旅行プランを立てることで、外からの視点で、観光都市京都について再発見するチャンスがあった。以上の点において探究学習の成果が見られた。		
受講者の反応	探究の楽しさを発見する場面があったようである。		
事後指導	研修旅行、そのプレゼン、WWL研究成果発表会を経て、将来にかけてさらに英会話スキルを伸ばすよう促したい。		
反省・課題	WWLで身に付けるべきスキルの中ではコミュニケーションスキルのみには当てはまるが、もう少し探究と結びつけることができるよう、メニューを検討する必要がある		
記録欄	13:35~14:25 各HR教室で意見交換をした。		
			報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

## WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	一年の振り返り(2)		
講演者・指導者氏名(所属)	第二学年担任団 ( )		
実施日時	令和 6年2月 21日 13 時 35 分 ~ 14 時 25 分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分 来校方法
授業名	総合的な探究の時間	受講対象	第二学年 受講人数 177 人
実施場所	各HR教室	使用備品	謝礼 あり(なし)
責任教員	服部、武居	担当教員	第二学年担任団
役割分担			
目的	一年を振り返り、探究活動で得たものについて振り返り、次年度にどう活かすかを考える(1)		
講演・講義の概要	クラス単位で一年の探究学習を振り返り、課題点について書いてもらい、その主だった意見をクラス全体に発表し、さらに意見を出し合う。		
備考・その他			
実施報告			
内容	今回は今後の課題について意見を出し合った。英語でのプレゼンテーションが、WWL研究成果発表会で選ばれた一部の生徒に限定された、グループワークにおいては役割分担がうまくいかず一部の者だけがほぼ仕上げた、など英語を探究活動の道具として活用することの不十分さ、協働作業の得手不得手が如実に出てしまうこともあった。英語を普段の英語の授業からコミュニケーションの道具として意識させて使わせること、グループワークを機能させることの教員側の課題も明らかになった。		
受講者の反応	探究の難しさも実感しているようであった。		
事後指導	研修旅行、そのプレゼン、WWL研究成果発表会を経て、将来にかけてさらに英会話スキルを伸ばすよう促したい。		
反省・課題	WWLで身に付けるべきスキルの中ではコミュニケーションスキルのみには当てはまるが、もう少し探究と結びつけることができるよう、メニューを検討する必要がある		
記録欄	13:35~14:25 各HR教室で意見交換をした。		
			報告者 服部拳也、武居春江

- \* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- \* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を